

学校運営協議会 議事録

| | |
|-----|----------|
| 校名 | 府立豊島高等学校 |
| 校長名 | 宮地 宏明 |

| | |
|---------|--|
| 開催日時 | 令和6年2月27日(木)15:00～17:00 |
| 開催場所 | 府立豊島高等学校1階 校長室 |
| 出席者(委員) | 家島会長、野村委員、安藤委員、村井委員 |
| 出席者(学校) | 宮地校長、坂口教頭、森事務長、甲田首席、池尾首席、井伊教務部長 |
| 傍聴者 | なし |
| 協議資料 | 令和5年度授業アンケート結果・学校教育自己診断結果・学校評価(案) 令和6年度学校経営計画(案) |
| 備考 | |

議題等(次第順)

- ・委員長挨拶
- ・校長挨拶
- ・協議

協議内容・承認事項等(意見の概要)

○はじめに
 ・新しいことひとつする時はふたつあるものを減らすぐらいの形で先生方に負担のないように。生徒が伸びることを一番に考えていただきたい。

○令和5年度授業アンケートの結果について

- ・先生の取り組み、2年生の教材活用、3年生の生徒意識で上がっていることが見受けられる。また、生徒の意識向上の項目も上がっているのは素晴らしい。その他の項目については誤差の範囲であろう。
- ・上がりやすい教科上がりにくい教科があると思うし、頑張っている先生の授業の取り組みを研究するなど活用してもらいたい。

○令和5年度学校教育自己診断の結果について

- ・数値が上がった下がったにとられるのではなく、100%のうちでそれぞれの項目が何%台であるのかを見たら良いと思う。そのなかで項目17「学校生活について先生の指導に納得できる」が低いというのは、先生方が説明する時間を持ちづらいのかなと思うのだが、生徒・保護者に対し、そもそも何のためにやっているのかを説明する場面を作れば納得が得られる。詰め込み式で説明するのではなく最初に丁寧に説明することによって、後に自発的な学びにつながったり態度の変容があつたりする。これらの数値の低い項目は簡単に変えられると思うので、ぜひ取り組んでほしい。
- ・項目18「担任の先生以外にも保健室や相談室等で気軽に相談することができる先生がいる」の項目も、担任の先生以外の先生は教科教育だけの付き合いになっていて話す機会や余裕がないことが表れているのではないかと。忙しいなかではあるが、あえて時間を作って心のことや雑談などを1回・2回するだけで向上すると思う。心理的安全性が最近よく言われているが、子どもたちにとって担任以外で頼れる人がいることで、学校にいること自体が良かったなと思ってもらえるようになると思う。
- ・項目23「本校は、体育祭・文化祭などの学校行事や生徒の活動が活発な学校である」が上がっている一方で、項目25「本校では服装や頭髪の指導が厳しく行われている」の項目も上がっている。これについて学校として特に取り組んだことはあるのか。→制服の指導を統一的に行った。
- ・項目9「本校の授業を十分に理解するためには予習や復習が必要である」の項目で1年生が高く3年生が低く出ている。先生方の感覚とデータを突き合わせる事が大切である。

○令和5年度学校評価(案)について

- ・教科をまたいで話をする事がとても大事であり素晴らしい。
- ・保護者への情報発信で「さくら連絡網」というシステムを使用していることは働き方改革に資するものである。

○令和6年度学校経営計画(案)について

- ・スリムになり、見やすくなった。

次回の会議日程

| | |
|----|--------------------|
| 日時 | 未定 |
| 会場 | 府立豊島高等学校1階 校長室(予定) |